

はあとふる

地域の皆さんに、心(Heart)と技術(Hands)でヘルスケアサービスを提供するためのコミュニケーション誌

介護保険法第1条をご存じですか。

「入浴、排せつ、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理その他の医療を要する者等について、これらの者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療サービス及び福祉サービスに係る給付を行う」とあります。

私たちは、地域の方々に、できる限り在宅で自立した生活を送っていただくために、訪問サービスや施設入所・ショートステイなどを提供し、ご利用いただいている。

今月号では、通所リハビリテーションで、病院や施設からお家へ戻られた方へ、継続したリハビリテーションを提供するため、短期集中的なリハビリテーションやトレーニングなどを提供していますのでご紹介します。



悠久亭敬老会で
さくらウインドアンサンブルの皆さん
の合奏を楽しみました



地域の小学生も参加し
なつかしい縁日を行ないました
幼い頃にタイムスリップしたような
ひとときでした

『高齢者の生活の質の向上を目指して…』
『予防重視』と『施設から在宅へ、地域へ』



島田病院、八尾はあとふる病院は
『病院機能評価認定病院』です。

はあとふる グループ | 医療法人(財団) 永広会
社会福祉法人 はあとふる

介護保険制度改正
から半年たちました

住み慣れた地域で、

平成18年4月1日より介護保険制度が改正されました。要介護高齢者が増え続ける中、高齢者の生活の質をできる限り維持するため、「予防重視」と「施設から在宅へ、地域へ」という方向性がより鮮明になりました。新予防給付導入とともに中心的な役割を担うのが、閉じこもり予防の効果も

はあとふるグループ

通所リハビリテーションメニュー

①

介護老人
保健施設

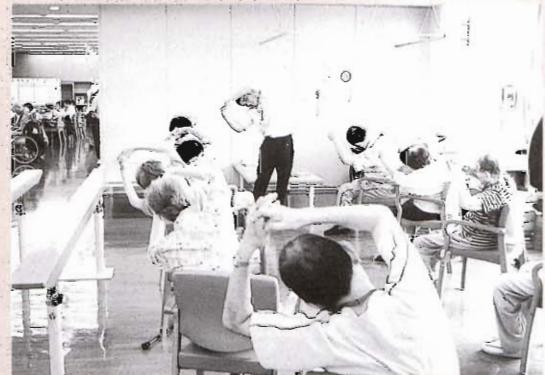
悠久亭の通所リハビリテーション

在宅での日常生活動作・生活機能が改善できるように…

- 退院、退所直後の方、介護度が悪化された方に短期集中で1日40分週2回以上のリハビリテーションを実施しています。
- 身体機能の維持が必要な方には療法士が評価して必要回数を設定し、1回20分の個別リハビリテーションを実施しています。
- 日頃の活動量が少なくなってきた方、個別リハビリテーションだけでは物足りない方、個別リハビリテーションを卒業された方にはトレーナー、介護職による小集団でのトレーニングを実施しています。

<例えば…>

- ・体力測定後、必要なメニュー（有酸素運動、片麻痺体操、筋力トレーニング、バランストレーニング、柔軟体操等々）へ参加していただきます。
- ・身体機能の維持・向上のため過剰な介護は行っていません。自分でできることは自分で、できない部分をスタッフがお手伝いしています。
- ・個別リハビリ実施計画書の作成、マネジメント連絡用紙での情報交換等、ケアマネジャーさんと連携し支援しています。
- ・毎月、祝日イベントや行事食フェアを実施し、気持ちや生活の活性化を図っています。



みんなでいっしょに下肢訓練

いきいきとした生活を!

期待される通所系サービスです。このため、通所介護・通所リハビリーションでは日常生活上の支援など「共通したサービス」と、運動器機能向上、栄養改善、口腔機能向上の「選択できるサービス」や個別リハビリテーション、機能訓練の要件の見直しが行われました。



3つの通所サービス

② 八尾はあとふる病院の通所リハビリテーション

- 療法士が中心となり個々のリハビリテーションプログラムを作成し個別訓練を実施しています。また、年齢による筋力低下の予防や転倒予防などトレーナー中心とした体力向上介護予防訓練も提供しています。
- 介護職によるレクリエーションや自宅入浴が可能となるよう入浴指導など、日常生活動作の活性化や介護予防に取り組んでいます。
- ご利用者・ご家族と二人三脚でのリハビリテーションを重視しています。
利用者の状態を考慮し、療法士が個別のリハビリテーション実施計画書、施設サービス計画書を作成し、その内容についてご本人、ご家族または担当ケアマネジャーと相談しながら訓練をすすめています。プログラムと一緒に考えていくことがリハビリテーションへの理解を深めるとともに、訓練による良い効果につながります。

通所介護メニュー

③ ゆうゆうハウスの通所介護

- 少人数で転倒予防体操を実施することで、ご利用者それぞれにゆっくり時間をとって関わりを持つように配慮しています。また、畑作業・おやつの買い出しなど日常の中でのリハビリ的な活動を多く取り入れています。
- 月に1回、全利用者を対象に季節に応じたお花見やお買い物ツアーなどの外出行事を行っています。外出先では日頃より歩行距離も長く、表情も豊かになる方が多いので、外出行事での長距離歩行を目標に転倒予防体操に日々取り組まれている方もいらっしゃいます。
- 月に1回、みんなで調理に取り組んでいて家庭的な雰囲気があります。
男性ご利用の方も参加され、作る料理は鍋、ホットプレートなどのテーブル料理や季節の料理、ご利用者リクエストなどさまざま。畑で作った野菜を使った漬物が食卓に上ることもしばしばです。畑で作った野菜でおやつ作りにも挑戦し、できることを役割分担しています。
- ご利用者同士やスタッフとのコミュニケーションが盛んで、近所付き合いをあまりされなくなったご利用の方にとっての他者交流の場となっています。地域のボランティアの方々もよく来てくださいます。

各通所サービスにおいて
「予防給付」についても
ご利用いただけるメニューを
用意しています。

- 体を動かす運動器機能向上
- 低栄養状態にあるご利用者に対して栄養改善
- 口腔機能の低下しているご利用者に対して口腔機能向上
- アクティビティ(集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練)

インタビュー

再び、ピアノを弾いてほしい!!

—ピアニストをよみがえらせたりハビリテーション—

作業療法士(OT)尾上晶子 理学療法士(PT)米田篤史

羽曳野市のイタリアンレストランでピアノの弾き語りのコンサートがありました。美味しい料理とワインを楽しんでいると、黒いドレスのピアニストが登場しました。私たち2人がリハビリテーションを担当している患者さまです。弾き語りの合間のお話に、私たちも胸が熱くなりました。「手が痛くて、ピアノが弾けなくなって、弾かないほうがいいと言われても納得できず、島田先生のところに行きました。そしたら『何歳になっても鍛えられない筋肉はないよ』と、リハビリテーションをするよう言われました。ピアノが弾けなくなって、悲しくて、つらくて、どんなに痛い治療法でも我慢して受けて治してもらおうと覚悟を決めていたのに、その言葉は私の胸にしました。そして、リハビリをし、今日コンサートを開くことができました。」

このピアニストの担当をした作業療法士 尾上晶子さんと理学療法士 米田篤史さんから話をききました。

『長年続けてきたピアノを弾く動作によって親指のつけねが痛み、最近ひどくなって、満足にピアノを弾くことができなくなってきた…。これが島田病院に来院された目的です。親指のつけねの部分に負荷がかかり過ぎ、痛みがでてきたようです。コンサート開催までに何とか痛みをとり、満足にピアノが弾けるようになりたいというのが目標でした。コンサート開催まで2ヶ月半しかありません。

リハビリテーションを実施するにあたり、まずピアノを弾く動作を模擬的に行ってみました。どのような動作を行う事によって痛みがでているのか?を確認します。弾く動作を評価することは、患者さまにあった個別のリハビリテーション実施計画をたてる上で大切になります。この患者さまの場合は、ピアノを弾く動作を見ることで原因が分かります。痛みの出る原因は一人一人の環境が違いますから、多種多様です。この患者さまの場合は、手に障害があり、痛みの出る患部の周囲の筋力が低下していました。その結果、弾く動作の中では筋力が低下した部分をあまり使わず、痛みの出る箇所にのみに負荷がかかっていたのです。

こうした評価がでれば、まず患部のまわりの筋力アップのプログラムをたて、リハビリを実施します。もちろん痛みの出る箇所のリハビリも必要ですよ。周囲の筋力が上がれば、これまで一点に集中していた負荷が分散されます。こうすることによって、痛みがなくピアノを弾くことができるようになるでしょう。とは言っても、筋力は落ちるのは早いのですが、回復はなかなか難しいのです。このリハビリテーション計画を実行するためには、あまり使わなくなった箇所の筋力アップやピアノを弾く動作のフォーム改善など問題

は山積みでした。ここで本人のモチベーション(やる気)が重要な要因となってくるんです。

リハビリの効果を上げるために、本人のモチベーションはすごく大事なことです。しかし、我々はサポートしかできません。結局は本人の気持ちの問題なんですよ。特に高齢者の患者さんで、「痛みを取って欲しい」だけが目的の患者さんは、モチベーションが低くなりがちなので、コミュニケーションをとる中で一緒に考え、その人にあった目標をたてていいくんです。本人にとってリハビリするための目標ですから。でも、患者さま一人一人にあった目標をたてるっていうのは難しいです。

今回のケースでは、モチベーションは十分あったので、リハビリテーション計画もうまく進行し、本人の目的であったコンサート開催に間に合いました。私たちも、すばらしい演奏を聴かせていただきました。病院でのリハビリが終了すると自分でリハビリを継続していく事になりますが、今後もこの患者さまのリハビリテーション計画は続していくことでしょう。』

高校野球でメディカルスタッフ(いわゆる理学療法士)が選手達に与える影響に感心し、スポーツ選手のサポーターになりたいと思いました。島田病院には多くのスポーツ選手が訪れるのでやりがいのある職場です。



理学療法士 米田篤史



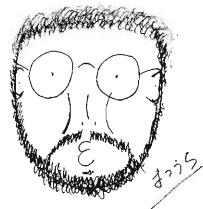
作業療法士 尾上晶子

もともと絵を描いたりするのが好きで手先を使う事が得意でした。作業療法士という仕事を知り、やってみたいという気持ちから資格をとりました。患者さん一人一人に満足してもらえるリハビリを提供していきたいと思います。

読んで学ぼう

整形外科の まめ知識 15

肩関節疾患のはなし-① 肩関節鏡手術の 対象となる疾患について



島田病院整形外科医長 松浦健司

(肩関節鏡手術については、Vol.14(2004.7月号)をご覧ください)

1 反復性肩関節前方（亜）脱臼

肩関節が脱臼すると靭帯や関節唇という軟骨が損傷を受けます。場合によっては骨折を伴うこともあります。初回の脱臼であれば適切な固定処置を受けることで完治が期待できますが、固定がなされなかったり、修復が十分でなければ反復性（クセ、脱臼を繰り返すこと）に移行します。手を挙げると抜けるような恐怖感や痛みが生じたり、ひどい場合は寝返りやくしゃみなどでも肩が脱臼するようになることもあります。スポーツ活動や日常生活に支障があるなら治療が必要です。

一般的には肩のまわりの筋肉を鍛えることで少しは脱臼にくくなることもあるようです。しかし、肩を挙げることが多いスポーツ選手（ラグビー・柔道・アメフト・スノボ）や強い外力が頻回にかかる方にはリハビリだけでは限界があり、手術をおすすめします。

手術ははがれた靭帯・関節唇・骨を元の位置に修復します。関節鏡での手術が可能で、修復には糸付きの小さなスクリューを打ち込んで、その糸で縫合して固定します。スクリューは通常2~4個用いますが、スクリューそのものは1年もすれば骨にとけてなくなってしまいます。

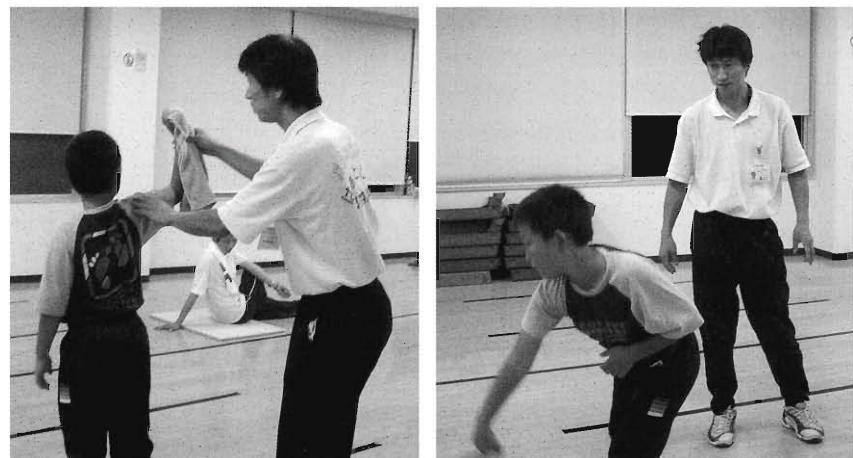
手術後3週間はつけ外しができる装具で患肢を固定します。その人にもありますが、術後4~8週間で日常生活に支障がなくなります。4ヶ月でスポーツ復帰可能ですが、ラグビー・アメフト・柔道などのコンタクトスポーツは6ヶ月で可能となります。

2 投球障害肩

投球障害肩とは野球やバレー、ボーラーといったボールを投げたり打ったりする時に痛みを感じるスポーツ障害で、上方関節唇損傷や腱板部分損傷、インピングメント症候群などが含まれます。

治療はまず、肩に負担のかからないような投球フォームを獲得することを目標にリハビリを行います。肩の筋力（インナーマッスル・アウターマッスル）低下や柔軟性の低下といった肩関節機能が低下している状況と胸郭・体幹・股関節に問題があることが多く、これらをまずリハビリで改善していきます。当院では改善していく様子を選手・理学療法士・医師で共有し、ともに考え方治療を進めていくようにしています。

このようなリハビリでほとんどの場合症状は改善します。しかし、この改善が一時的であったり、維持できない場合に限って関節鏡手術が必要になります。手術は損傷された関節唇や腱板を修復するか切除するかの選択になります。術後2ヶ月半から5ヶ月で投球再開が可能となります。

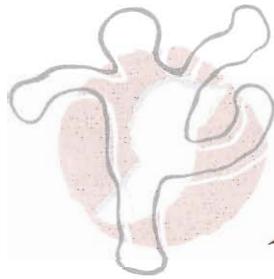


「肩に負担のかからない投球フォームのリハビリ」

●次号は、肩関節疾患のはなし-②

『腱板損傷、肩関節拘縮・五十肩』についてお話しします。

Topics トピックス



はびきのヴィゴラス オープン3周年!



平成15年8月1日にオープンし、今年3周年を迎えることができました。これもひとえにヴィゴラスをご利用いただいている皆様のお陰であると、スタッフ一同感謝しております。

ヴィゴラスでは、健康維持・増進目的でのご利用をはじめ、生活習慣病予防・ダイエットなどお客様のご利用ニーズに応じ、トレーナーがお客様のトレーニングプログラムを作成し、計画的に目標達成のお手伝いをさせていただいております。また、島田病院を受診されている患者さまの健常部のトレーニングやリハビリ終了後の社会復帰を目指したトレ

ーニングの場ともなり、これには、島田病院の理学療法士が対応させていただき、痛みがある方でも安心してトレーニングに取り組んでいただけます。

今後も、地域の皆さまの健康づくりに貢献できるよう、サービス向上に努めて参ります。

Eudynamicsはびきのヴィゴラス
主任(トレーナー) 大西 敏之

悠々亭 敬老会 開催

平成18年9月17日・18日



悠々亭では、2日間にわたって「敬老会」を楽しみました。

さくらウインドアンサンブルの合奏、恵我之荘校区民生児童委員の花川時雄さんの南京玉すだれ、太鼓サークル「天音」の太鼓演奏などで、大いに盛り上りました。

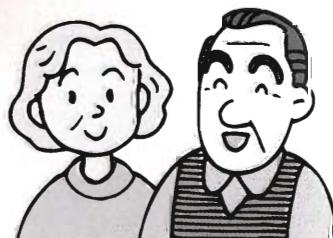
また、7月、8月の酷暑の時期にもかかわらず、通所リハビリに体まず来られた皆さんに『皆勤賞』『精勤賞』の表彰式も行いました。



太鼓サークル「天音」



花川時雄さん



より質の高い ヘルスケアサービスを提供するために。 労務管理研修を開催しました

吉本社会保険労務士事務所 吉本俊樹先生をお招きし、リーダー職と管理監督職と総務担当者を対象に開催しました。

労務管理と聞くとすごく難しいように思いますが、職員一人ひとりが、良質なヘルスケアサービスを効率よく提供できるよう人事、教育研修、人間関係などをマネジメントすることだと再確認しました。今回の研修では、労働基準法と就業規則のコンプライアンス（法令遵守）を中心に、今年の4月に施行された労働審判法等の解説を受け、実際職場で起こりうる問題を実例を交えて、労務管理に必要な知識を学びました。

参加した職員からは、法的なものを踏まえて人を管理する大切さがよくわかった、という意見がありました。

今後も『はあとふるグループ基本方針』の1つである“はあとふるグループは 職員の成長を支援し、自律した個人・組織となり連携する”ため学習を続け、皆さんに還元できるよう努めます。

法人事務局 東 身江子

しっかり学ぼう！



Infection Control Nurseの部屋 (感染管理認定看護師)

麻疹(はしか)は 小さい子供だけの病気ではありません

はしかは、とても感染性が強い感染症です。ワクチンを接種していなかったり、今までにかかったことがない人は、高い確率で感染を受け発症します。日本のはしかによる死亡率は、50年前からワクチン対策により急激に減りましたが、ワクチンを接種していない人が、感染し発病した場合、重症度が高く、約40%が入院し、患者1000人に対し1人の割合で死亡することがあるといわれています。

はしかの予防はワクチンを接種することです。その接種率は平成11年度で77.1%、平成12年度が81.1%と、ようやく80%を超えたところで、しかも50~60%と低い地域もあるようです。ちなみに大阪では67.7%です。

(国立感染症研究所 感染症情報センターより)



法人事務局 感染・安全管理担当
感染管理認定看護師 森下 幸子

今年の夏、関東の地域で保育所や小学校、高校生までもはしかの集団感染が報告されました。ワクチンを接種されている人が多かった事もあり、重篤にならずに現在終息へ向かっているようです。皆さまは接種されていますか？

はしかにまだかかっていないワクチン未接種の方は、この機会に是非予防接種を受けましょう！

……………ひとりごと……………

16年前、子供たちが保育所へ入園するまえに、小児科の先生に勧められ「みずぼうそう・はしか・ふうしん・おたふく」のワクチンを接種しました。毎月、注射があります。病院の玄関で大泣きする二人の腕を持ち、廊下を引きずって行きました。でも！そのおかげで、どんなに“みずぼうそう”が流行しても、兄妹だけ元気に通園していました。

懐かしいわ～。えっ、引きずられていた彼らですか？覚えてないみたいですよ(笑)

はあとto ハート

インフォメーション

アメリカの
医療現場を
視察しました

＜使 命＞
良質のヘルスケアサービスを
効率よく地域の方々に
提供し続けます

＜職員憲章＞
私たち、その人が
その人らしく自分の人生を全うすることを
心(Heart)と技術(Hands)で支援します

はあとふるグループは、個人の価値観を尊重し、
その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援する
ヘルスケアサービスを提供します。

アメリカにおけるリハビリテーションの実際 — 急性期から回復期さらに在宅への流れ —

アメリカのエリー湖の南岸に「クリーブランド」という町があります。今回、社会医療研究所主催のツアーで、いくつかの医療機関を見学してきました。

私たちは、そこで、肩から銃で撃たれた少年の事例紹介を受けました。彼を襲った銃弾は肺を貫通し、脊髄まで傷つけてようやく止まっており、下半身は麻痺した状態でした。銃弾を取り出し、傷ついた肺の修復の手術を受け、集中治療室からわずか5日で一般病床へ、そして、肺に入れられたチューブを抜いて10日目にリハビリテーション施設に移っています。そこも約1カ月で退院し、術後約10カ月を経過した現在、通院してリハビリテーションを継続し、両松葉杖で装具をつけて歩行できるまでに回復していました。



アメリカの光と影を見たような気持ちになりました。
銃社会と見事な医療システムです。日本の良さを堅持しつつ、チームで徹底的に復帰に取り組むシステムを作り上げて行く必要を再認識しました。

理事長 島田 永和

●アメリカで講師をしていただいた4名の方が来日され、10月29日(日)に
「日米ジョイントフォーラム」が開催されます。ぜひご参加ください。

※詳しくは『第2回日米ジョイントフォーラム』の案内ちらしをご覗ください。

▶ 「はあとふるグループ2005年度年報」が完成しました。 ホームページに掲載していますので、ぜひお読みください。
<http://www.heartful-health.or.jp>

ヴィゴラス競技別教室
お申し込み・お問い合わせは
島田病院地下一階
はびきのヴィゴラスまで
直接ヴィゴラスにお越しいただくか、
電話またはFAXにてお申し込みください
TEL/FAX 072-953-1007
Eメールでのお申し込みは
vigorous@heartful-health.or.jp

日 時	テ ー マ	講 師
平成18年 11月2日(木) 19:00~20:30	「バレーボール —ジルソンから学べ—」 当日は実技も行います 運動の出来る服装、シューズをご持参ください (更衣室はご用意しております) 開催場所: はびきのヴィゴラス 参 加 費: 1人 1,050円(税込) 定 員: 15名	島田病院 リハビリテーション課 理学療法士 堀谷 尚代

たくさんの方のご参加を
お待ちしております。



はあとふるグループ

●医療法人(財団)永広会

- 島田病院 072-953-1001
Eudynamics はびきのヴィゴラス 072-953-1007
介護老人保健施設 悠々亭 072-953-1002
在宅介護支援センター 悠々亭 072-953-1003
介護サービスセンター ゆうゆう亭 072-953-5514
〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山100-1
ヘルパーステーション 悠々亭 072-953-1062
訪問看護ステーションハートパークはびきの 072-953-1004
〒583-0883 大阪府羽曳野市向野3-96-7
八尾はあとふる病院 072-999-0725
介護サービスセンター はあとふる 072-999-8126
〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1
●社会福祉法人 はあとふる
高齢者生活福祉センター ゆうゆうハウス 072-931-1616
〒583-0875 大阪府羽曳野市櫻山96-10